

北区制50周年記念ロゴマークの活用

地域や民間事業者とともに、北区制50周年記念事業を盛り上げていくために、「シンボル」となるロゴマークを一般募集しました。2022年12月中旬から2023年1月末までの約1ヶ月半で、全国から344点の応募があり、厳正な審査と一般投票を経て1点が選ばれました。「50周年記念事業を北区の皆さまと一緒に盛り上げていこう」と願って、この1年間、このロゴマークは誰でも自由に使えるようにして、様々な場面で登場してきました。



裏話 一般公募で募集した記念ロゴマーク。しかし応募数が...

ロゴマークの募集期間は約1ヶ月半。応募数がなかなか伸びず悩んでいたところ、締め切り直前の3日間で、応募総数の半分以上にあたる200件の応募が!!よかった…。審査まで期間が短かったため、いただいた応募作品の整理を遅くまで頑張りました。

チラシやポスターなどへの使用

北区で開催されるイベントや地域のお祭りのチラシ・ポスターなど、たくさんの方の目に留まるものへ掲載していただきました。その情報は、より多くの方に知っていただけるように、50周年特設サイトでもご紹介しました。



ロゴスタンプの制作

山田町にお住まいの手彫りのスタンプづくりが得意な宮本さんに、記念ロゴマークのスタンプをつくっていただきました。宮本さんは北区にある六條八幡宮や無動寺など数多くのスタンプを彫ってこられました。ロゴスタンプを50周年のイベントブースや区役所の窓口に置いたところ、多くの方が押されていました。



裏話 えっ!こんなところにもロゴマークが使われているの?!

2023年は北区のあちこちで野生のサルが出没しました。右の絵は、出沒情報をSNSで発信する際の画像。50周年ロゴマークはこんなところでも使われている!



地域行事の紹介

ロゴマークは、きたきたまつりなどの大きなイベントはもちろん、地域のイベントやお祭りでも使っていただきました。50周年記念事業と一緒に盛り上げていただいた地域のイベントや取り組みをいくつかご紹介します。

第2回すずらんフェスタ《6月25日(日)》



北区連合婦人会の主催により「すずらんフェスタ」が、ありまホールにて開催されました。北区連合婦人会は、北区とともに、設立50周年を迎えました。第1部の記念式典では、来賓からの祝辞と、永年にわたって会長職を務めた方への感謝状の贈呈が行われました。

第2部では、婦人会の皆さまによる民謡や楽器演奏、地域の子供たちによるダンスやよさこいなどが披露されました。子どもから大人まで、多世代の皆さまが日頃の練習の成果を発揮し、会場が一体となって盛り上がりました。

第22回どろんこバレーボール神戸大会《8月6日(日)》

4年ぶりに帰ってきた大沢町の真夏の一大イベント!

「おもしろいことがしたい」という町内の若手有志による発案からスタートし、2023年までに21回開催されてきました。大沢町の人口よりも多くの人が大沢町を訪れることでも有名です。待ちわびた出場者達によって、泥だらけの熱戦が繰り広げられました!!



地域の夏祭り



コロナ禍の規制・制限が緩和され、4年ぶりに多くの地域で夏祭りが開催されました。そのうちのひとつ「泉台夏祭り(8月19日)」のご紹介。会場の泉台小学校の運動場には、飲食やお菓子の屋台がたくさん並び、こどもみこしや盆踊りが行われて大盛り上がり。なかでも、「泉台よさこいチーム」による踊りは迫力満点!

地元の子供達で結成され、17年続くチーム。6年生のリーダーを中心に上級生が下級生に踊りを教える、子ども同士の教え合いで成長してきたそうです。

赤い羽根共同募金に50周年コラボグッズ登場!

北区社会福祉協議会による赤い羽根共同募金は、戦後、市民主体の民間運動として始まり、地域福祉の推進のために活用されてきました。現在は誰もが安心して暮らせるよう、地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援し、災害支援にも活用されています。北区制50周年の2023年は、商品を購入すると売上の一部が募金にあてられる“募金付き商品”に「ロゴマーク入りのトートバック」が登場しました!

